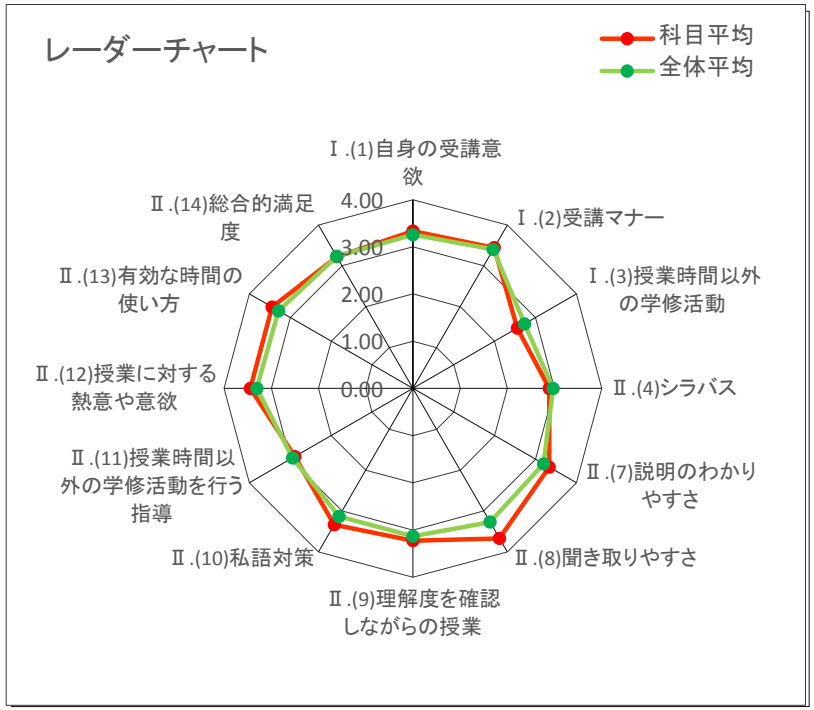
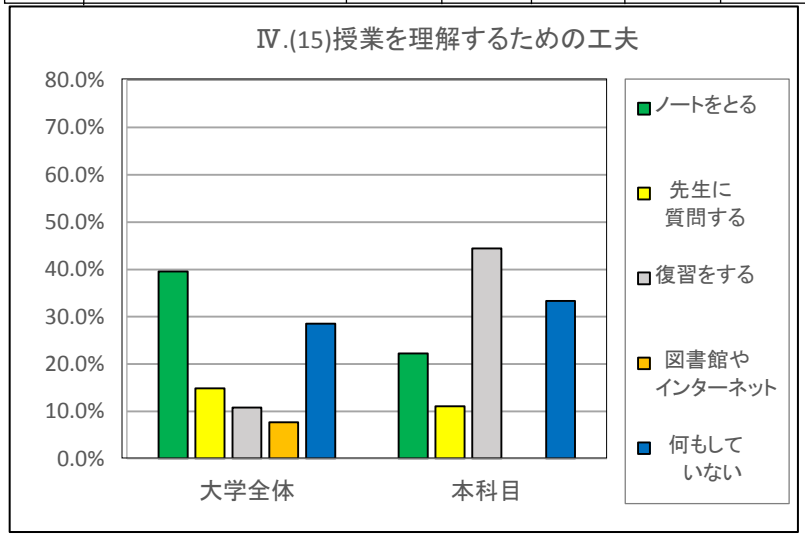
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.33	3.26
	Ⅰ.(2)	3.44	3.40
	Ⅰ.(3)	2.56	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.89	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.33	3.20
	Ⅱ.(8)	3.67	3.27
	Ⅱ.(9)	3.22	3.13
	Ⅱ.(10)	3.33	3.13
	Ⅱ.(11)	2.89	2.94
	Ⅱ.(12)	3.44	3.31
	Ⅱ.(13)	3.44	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.22	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	33.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.11	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.28	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.22	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	34302
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

基礎数学Ⅱにはテキストがあり、5級1次（計算技能）・2次（数理技能）、4級1次・2次、3級1次・2次とある。すべてについて全15回の授業内で学習できているから、シラバス内容は完全に達成できている。

基礎数学Ⅱは基礎数学Ⅰに続きその内容は基礎数学担当者会議によって検討・吟味されている。到達目標も難易度もその意味でぬかりなく設定されている。その内容は中学校数学の範囲を出るものではなく、社会人基礎力を試すSPIの非言語（＝数理）の問題よりも易しい。しかるに、アンケート結果を見ると、学生が自分にとっては難度が「高い」「やや高い」と答えている。言語道断である。この意識こそ変えていくべきと考える。就職状況の厳しい中、このような状態で他大学生と少ない椅子を巡って競い合うことなどできない。

②授業の進め方について

おそらく本学でもっとも声量が大きく声の明瞭な教員は小生をおいて他にないと思う。レーダーチャートにも明確に出ている。また、1単限（一級）ごとに抜き打ち的な「確認テスト」を行い、履修生のとくに間違いの多い問題に関して解説を行っている。
授業環境に関しては、当該授業の初回および第2回目において、授業中の諸注意ならびに迷惑行為等への徹底した対処を記したプリントを配布し、学生にこれを周知している。静かで安心・安全な授業環境の確保の点では、これまた本学で最も厳しく徹底しているのは小生の授業であり、アンケート結果にも反映されている。
アンケート結果を見る限り学生の授業満足度は平均的であるが、これは基礎数学という科目の特殊性で低くなっているものと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート結果をみて一番意外であったのは、自分にとっての難度が高いと感じている学生の多さであった。授業中には順調に問題を解き進めている学生の多い印象であったが、この印象は裏切られたのであろうか。たかだか15回の授業ではすべての範囲を教員の説明で行うことはできないので、今後は授業の初回と第2回目あたりに実力テストを実施し、まず学生のレベルととくにひっかかっている箇所を特定した上で、ピンポイントでテーマを選んで丁寧な解説を行うほうが効果が上がるかもしれない。

奈良学園大学